

第84回 獣医麻酔外科学会

第96回 日本獣医循環器学会

第51回 日本獣医画像診断学会

後援：(社)埼玉県獣医師会

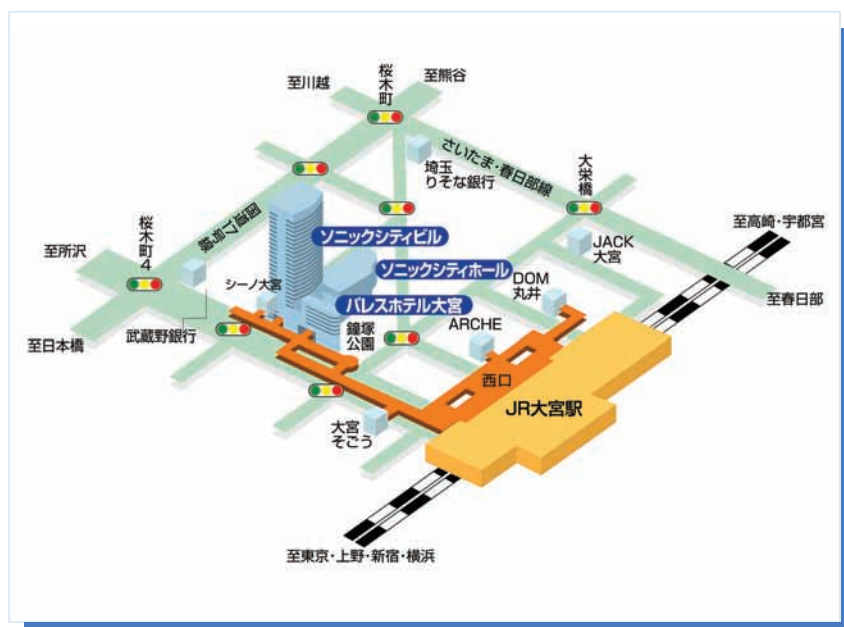
6/9 土・10 日

2012年
春季合同学会

開催
会場

大宮ソニックシティ

〒330-8669 さいたま市大宮区桜木町1-7-5
<http://www.sonic-city.or.jp/>



合同学会代表

伊藤 博 (東京農工大学)

第84回獣医麻酔外科学会大会長

伊藤 博 (東京農工大学)

第96回日本獣医循環器学会大会長

町田 登 (東京農工大学)

第51回日本獣医画像診断学会大会長

田中 綾 (東京農工大学)

合同学会事務局

清水美希 (東京農工大学)

開催委員

小林正行 (東京農工大学)

福島隆治 (東京農工大学)

岸本海織 (東京農工大学)

合同学会開催にあたって

第84回獣医麻酔外科学会、第96回日本獣医循環器学会、第51回日本獣医画像診断学会の春季合同学会開催にあたり、ご挨拶と学会のご案内を申し上げます。近年、獣医療は、CT、MRIなどを用いた画像診断システムや高額医療機器の導入により、目覚ましい発展を遂げてきました。また、情報ネットワークの発達により、容易に医学知識が習得できるようになりました。しかし、臨床現場では、様々な難治性の疾患に遭遇する機会が多く、診断や治療に苦慮されている先生方が多いと思われます。そこで本学会では、少しでも臨床現場の“糧”となりますよう、三学会が企画を立て、最先端医療の“情報”“知識”“技術”の修得と、疑問点などを議論する場を設けました。多くの先生方のご参加をお待ち申し上げます。また、昨年は、東日本大震災が発生し、多くの尊い命が奪われてしまいました。しかしながら、被災者の方々は常に心を強く持ち、一日も早い復旧と復興に全力を尽くされています。そこで本学会では、昨年に引き続きまして、被災された方々および動物への支援金を募ることを企画いたしましたので、何卒ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

合同学会代表 伊藤 博

演題募集 ※演題募集は締め切りました。多くのご応募有難うございました。

合同学会では一般発表の演題を募集します。下記の要領で作成し、演題登録をして下さい。

抄録作成要領

- 1 : Microsoft Wordで作成。
- 2 : A4横書きで1ページのみ、約1500文字
- 3 : 演題、名前(所属)、本文の間にそれぞれ1行空けて下さい。
口演者には名前の前に○を付けて下さい。
- 4 : 獣医麻酔外科学会では、研究報告と症例発表に分けて募集します。

演題登録

▶ <http://www.tasp.co.jp/entry-subject.12h.html>

上記にアクセスして演題登録フォームに従って記入の上、送信して下さい。
各学会ホームページからもアクセス出来ます。

応募締切

▶ **応募締切：2012年4月13日(金)**

今回はプレゼン用データの事前提出は予定しておりません。
学会開催時にご自分のノートパソコンかデータ(USBメモリやCD-Rなど)
をお持ちいただく予定です。
詳細は発表者宛に後日ご連絡致します。

若手獣医師による若手獣医のためのBasicセミナー

演題募集中。獣医麻酔外科学会では、若手獣医師による演題を募集しています。このセミナーは、専門的知識や技術の取得を目指している若手獣医師に教育講演の機会を設けることを目的としています。積極的に応募してください。(1演題45分、合計6演題、演題名自由、抄録はwordで作成し、A4横書きで3ページまで、約4500字。)

応募締切：2012年4月13日(金) 応募先：endai@tasp.co.jp

応募要領：演題名、氏名、連絡先をメール本文に明記の上、抄録を添付してお送り下さい。

参加費

	会員	非会員	学生・研修医 当日登録のみ・要学生証提示
事前登録	10,000円	14,000円	
当日登録	12,000円	16,000円	2,000円
懇親会	5,000円		
東日本大震災支援金	1,000円		

事前登録振込先 ゆうちょ銀行口座番号：00130-3-639016

口座名：2012年春季合同学会 ※郵便振替払込取扱票にて、2012年5月11日(金)までにお払い込み下さい。

連絡先

学会連絡先

清水美希 東京農工大学 〒183-8509東京都府中市幸町3-5-8
TEL/FAX：042-367-5605 Email：mshimizu@cc.tuat.ac.jp

事務連絡先：演題登録、事前登録などの問い合わせ

㈱タスプ 〒174-0051東京都板橋区小豆沢2-9-19 TEL：03-5970-3990(代) FAX：03-5970-3997 E-mail：info@tasp.co.jp

プログラム

各学会にて教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション、講習会などを予定しております。
また、合同学会ならではの企画も用意致しました。詳細は随時各学会ホームページにアップデートしていきます。

■ 合同企画

三学会合同シンポジウム

「副腎疾患」

- 1) 内科的管理：手嶋隆洋 (日本獣医生命科学大学)
- 2) 外科的管理 (副腎腫瘍)：小林正行 (東京農工大学)
- 3) 外科的管理 (下垂体腫瘍)：原 康 (日本獣医生命科学大学)

「移植医療」

- 1) 犬の角膜移植：福島 潮 (神奈川県)
- 2) 猫の腎臓移植：片山泰章 (岩手大学)
- 3) ヒトの臍島移植：興津 輝 (東京大学生産技術研究所)

「がん免疫療法」

- 1) 渡部あい (酪農学園大学)
- 2) 伊藤 博 (東京農工大学)
- 3) 本間 定 (東京慈恵会医科大学DNA医学研究所)

「小動物の腫瘍に対する動注化学療法」

- 1) 小林正行 (東京農工大学)
- 2) 日高勇一 (宮崎大学)
- 3) 秋吉秀保 (大阪府立大学)
- 4) 古川敬之 (愛知県)
- 5) 井上理人 (大阪府)

■ 獣医麻酔外科学会

教育講演

「骨折後の癒合不全」 樋口雅仁 (大分県)

「小動物の関節炎」 奥村正裕 (北海道大学)

「心疾患の外科」 田中 綾 (東京農工大学)

「大腸の外科疾患ならびに手術法」 信田卓男 (麻布大学)

「各種疾患の麻酔管理- 1 糖尿病を基礎疾患に持つ動物の麻酔管理」 長濱正太郎 (東京大学)

「各種疾患の麻酔管理- 2 甲状腺機能異常を基礎疾患に持つ動物の麻酔管理」 今井彩子 (東京都)

リフレッシャーコース

「インターロッキングネイル法」 遠藤 薫 (栃木県)

「胸腰部椎間板ヘルニア」 諸角元二 (埼玉県)

「外科手術機器の使用法」 浅野和之 (日本大学)

「腫瘍外科学の基本」 高木 哲 (北海道大学)

「揮発性吸入麻酔薬を極める」 井芹俊恵 (大阪府立大学)

「体温管理を熟知する」 岡野昇三 (北里大学)

シンポジウム

「肢端部(手根骨、足根骨)の骨折・脱臼」

- 1) 診断法(触診、画像)：陰山敏昭 (愛知県)
- 2) 手根骨・手根関節の骨折・脱臼：泉澤康晴 (酪農学園大学)
- 3) 足根骨・足根関節の骨折・脱臼：山口伸也 (東京都)

「急性腹症」

- 1) 獣医学：岡本芳晴 (鳥取大学)
- 2) 医学：阿久津泰典 (千葉大学)

「周術期の栄養管理」

- 1) 動物の周術期栄養管理の基本：北中 卓 (ロイヤルカナンジャパン)
- 2) エキゾチックペットの周術期栄養管理：小沼 守 (埼玉県)
- 3) 犬猫における周術期栄養管理の実際-経腸栄養：柳川将志 (東京大学)
- 4) 犬猫における周術期栄養管理の実際-静脈栄養：山下和人 (酪農学園大学)

パネルディスカッション

「環軸椎不安定症」

- 1) 原 康 (日本獣医生命科学大学)
- 2) 相川 武 (東京都)
- 3) 宇根 智 (大阪府)

「避妊手術の合併症をいかに減らすか？」

- 1) 基本的手技と合併症：小出和欣 (岡山県)
- 2) 縫合糸反応性肉芽腫：千々和宏作 (福岡県)
- 3) 腹腔鏡：江原郁也 (大阪府)
- 4) 訴訟問題：岩上悦子 (日本大学医学部)

「伴侶動物の心肺脳蘇生指針」

- 1) 伴侶動物二次診療施設における周術期死亡の発生状況-麻酔関連偶発症に関する調査2010の結果から：伊丹貴晴 (酪農学園大学)
- 2) 伴侶動物診療施設における心肺脳蘇生の実際：新井創人 (神奈川県)
- 3) 獣医療における心肺脳蘇生指針の現状：田村 純 (酪農学園大学)
- 4) 伴侶動物の心肺脳蘇生指針(案)：佐野忠士 (日本大学)

若手獣医師による若手獣医のためのBasicセミナー

■ 日本獣医循環器学会

教育講演

「犬の心臓腫瘍の診断と治療」

- 1) 疫学と病理：町田 登 (東京農工大学)
- 2) 診断について：平川 篤 (福岡県)
- 3) 治療について：星 克一郎 (新潟県)

特別セミナー

「僧帽弁閉鎖不全症の病態評価」

- 1) 一般身体検査、心電図検査、X線検査：平川 篤 (福岡県)
- 2) 心エコー検査：岩永孝治 (東京都)

認定医講習会

「講座6-先天性心疾患の基礎3」 小山秀一 (日本獣医生命科学大学)

「講座7-先天性心疾患の基礎4」 小山秀一 (日本獣医生命科学大学)

「講座28-循環性ショックの病態」 町田 登 (東京農工大学)

「講座29-肺水腫・胸水・肺循環」 町田 登 (東京農工大学)

症例検討会

■ 日本獣医画像診断学会

シンポジウム

「デジタルラジオグラフィーを正しく撮る・読む」

- 1) デジタルラジオグラフィーの線量設定と撮影機器の選び方：東芝メディカルシステムズ、富士フィルムメディカル、コニカミノルタヘルスケア、アールエフ
- 2) デジタルラジオグラフィーを正しく読む：夏堀雅宏 (東京都)
- 3) フィルムリーディングー記憶に残ったX線症例－：菅沼常徳 (埼玉県)

■ 日本小動物外科専門医協会レジデントフォーラム

外科専門医を目指しているレジデントによる症例発表会を6月8日(金)13:00より開催します。各学会に所属している獣医師は自由に参加できます。

